



日々明朗 日々努力

飯豊中学校
令和2年度
第3号
令和2年5月26日
文責：小野明彦

令和2年度 飯豊中学校生徒会スローガン『飯豊革命 ～ 2020 ～ 』



～ 素晴らしい参加姿勢を示した 第1回生徒総会（5/22） ～

私は、現在の校舎ができて10年目の年から4年間勤務しました。それから十数年が経ちましたが、多くの先輩方や現在の生徒自身のおかげで、素晴らしい学校になっていると、日々実感しています。

新型コロナウイルス感染症対策で気持ちが落ち着かない中であっても、感心するくらい集中した授業への取り組みが見られますし、授業でプリントが配られると「ありがとう」という声がたくさん聞こえてきます。また、集会の時は私語をせず、整然とした行進や整列が見られますし、職員室への出入りの姿も、はきはきしていて大変気持ちがいいです。廊下をすれ違う際の「こんにちは」の挨拶も自然にできる人が増えています。また、休んでいる人がいれば、授業で渡されたプリントにも記入してあげたり、久しぶりに登校すれば、笑顔で温かく声をかけ迎えてあげたりする姿も見られます。安心して学校を休み、安心してまた学校に通える居心地のよい学校だと思えます。

生徒総会の中でも、呼ばれた時の「はい！」の返事や発言した人に対するあたたかい拍手など、参加態度が大変素晴らしいと感じました。生徒会や学級のリーダーだけでなく、全校生が自分たちの生活する飯豊中学校をさらに居心地よくするため、真剣に話し合いに参加し意見交流している姿を何よりうれしく思います。例年以上に限られた期間の中で一生懸命準備し、工夫ある会の運営をしてくれた執行部、各専門委員長、事務局はじめ、全校生のおかげに心から拍手を送りたいと思います。



さて、5月も下旬に入りましたが、まだ決して普段通りの日常生活が戻ってきた訳ではありません。極めて、特殊な状況の中での学校再開です。細心の注意を払って今後も生活していく必要があります。長期間の外出自粛により、一人ひとりが相当ストレスを抱えていること



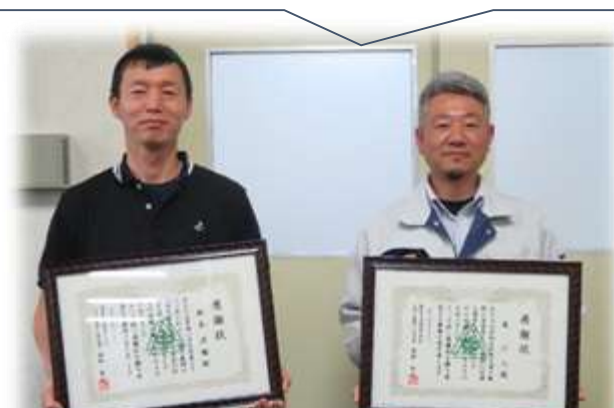
と思いますが、それらを少しずつ、上手に発散していくことができればと思っています。そして、これからも、どんなに辛く、困難な状況の中でも、笑顔を忘れず、自信をもって目の前のことに挑戦できる飯豊中生であってほしいと願っています。行事や大会だけが大切なわけではありません。何気ない日々の生活こそが、かけがえのない宝物です。

飯豊中写真館

総会の場でご披露できなかったことが残念ではありますが、子どもたちの良き理解者、応援者として本校教育にご尽力いただきましたお二方に、心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



4月6日 全肩介の「手づくりマスク」受贈
「ばあちゃんますくいいで〜♪」復藤和子様、
梅津智子様、木村栄子様、手塚娃子様より



5月8日 “父母と教師の会”感謝状贈呈



5月25日 2年保健体育『体カテスト』
立ち幅跳び…意気込みが、すごい!!



5月26日 スズキ製作所様(長井市大町)より
全校生及び教職員介の「マスクフック」受贈

県中総体・吹奏楽県大会および地区中総体・吹奏楽地区大会開催中止に

新型コロナウイルス感染症の影響により、置賜管内では、未だ学校再開に至らない中学校もあります。かつて経験のない異常事態の中、私たちは元の学校生活を少しずつ取り戻すべく日々、努力しています。

そんな中、標記大会(駅伝競走大会を含む)の中止が決定されました。選手はもちろん、大会を支えてくださる関係者の皆さんの健康・安全を最優先した上での苦渋の決定となります。生徒の皆さんの落胆や戸惑いを思うと、本当につらく、胸が張り裂けるような気持ちですが、前を向いていくしかありません。決してこれまで努力してきた大切な時間までが、奪い取られるわけではありません。3年生にとって、中学校入学以来の取り組み、個々の努力、仲間との絆などは、まぎれもない宝物であり、今後の人生における心の支えとなっていきます。

これからは、安全を十分に確保した上で実施可能となる練習試合や記録会、演奏会等への参加に目標を置き換えて、気持ちを切り替え取り組んでいきたいと思ひます。